

## 1 検討の背景

○「都立高校改革推進計画・新実施計画（第二次）」（平成31年2月）において新国際高校（仮称）の設置を決定

- ▶場所 東京都港区白金二丁目（旧東京都職員白金住宅地）
- ▶対象 都内公立中学校卒業生を中心に受入れ  
海外帰国生徒、在京外国人生徒を一般枠とは別に受入れ予定
- ▶規模 各学年6学級相当（240人）、計18学級相当（生徒総数720人）を想定
- ▶開校予定年度 基本設計の結果等を踏まえ、できるだけ早期に開校

○計画策定後、グローバル化やDXの急速な進展など社会情勢が大きく変化する中、グローバル人材育成の基本的な考え方を示す「東京グローバル人材育成指針」を令和4年3月に策定

○こうした社会情勢の変化等を踏まえ、世界で活躍するグローバル人材の育成に向けた新国際高校（仮称）の教育コンセプト等について、国際色豊かな教育環境の整備、論理的思考力・主体的に学ぶ力の育成、国内外の多様な進路選択を議論のベースに、専門家から意見を聴取

## 2 専門家会議の検討の経過

○令和5年7月「都立新国際高校（仮称）開校に向けた専門家会議」を設置（委員等は下表のとおり）

○「グローバル人材の育成に向けた新たな高校」を目標に、4回の会議を開催（7/26,9/7,10/30,12/22）

○教育コンセプトのブラッシュアップに向けて検討を進め、12月に議論のとりまとめ（概要は次頁のとおり）

東京学芸大学附属国際中等教育学校長	荻野 勉	左記の委員のほか、各分野の専門家からも意見を聴取	
上智大学言語教育研究センター教授・センター長	藤田 保	東京学芸大学大学院教授（ICT教育）	北澤 武
明海大学教職課程センター・地域学校教育センター教授	米村 珠子	FinCity.Tokyoアンバサダー（金融）	イエスパー コール
港区教育委員会事務局学校教育部教育指導担当課長	篠崎 玲子	オーストラリア キーンズランド州政府駐日事務所 上席商務官	田村 杏奴
東京都立国際高等学校長	齋藤 直子	米国大使館職員	ミーガン エイトケンヘッド シルバ 智子
東京都立立川国際中等教育学校・附属小学校長	市村 裕子		

### 3 「都立新国際高校（仮称）開校に向けた専門家会議」議論のとりまとめ（概要）

#### （1）設置理念

国際社会において、地球規模の問題解決に取り組み、他者と協調しながら、より良い未来を構築するグローバル人材を育成する。

#### （2）育成を目指す生徒像

- ・豊かな教養と論理的思考力、総合的な語学力を基礎として、グローバル化する社会の中で、主体的に学び続けながら行動し、**自分の将来を切り拓く生徒**
- ・社会の持続的な発展に向け、多様な価値観を受容しながら協働して社会の課題解決に取り組み、**新たな価値を創出することができる生徒**
- ・自立した人間として前に踏み出す強い意志、高いコミュニケーション能力、柔軟性や創造力を有し、**世界をけん引していくことができる生徒**

#### （3）教育活動の基本的方針

##### 【幅広く豊かな教養を身に付け、思考の基盤を形成】

- ・理系文系にとらわれない**リベラル・アーツ教育**、**教科横断的・文理融合的な学び**
- ・総合的な語学力を強化、異なる文化・価値観を乗り越えて関係を構築する力を育成

##### 【論理的思考力等を高め、新たな価値を創出する力を育成】

- ・論理的思考力や協働する力、本質を見抜く力等の育成、**探究的な学び**や**STEAM教育**を実施
- ・国内外の大学や高校、研究機関、企業、大使館、インターナショナルスクール等と連携
- ・デジタルを最大限に活用し、授業改善や学習意欲の向上等に繋がる教育活動を実施

##### 【自ら積極的に行動し、生涯にわたって成長し続ける意欲を醸成】

- ・国内外での**社会貢献活動**や**インターンシップ**等に全ての生徒が参加
- ・世界で活躍するトップリーダーや起業家等から学ぶ講座を設置
- ・国内大学のほかアジア諸国等の海外大学も含め、多様な進路の実現に向けて体制を整備

## (4) 教育課程等における学校の特色ある取組

### <リベラル・アーツ教育の充実>

- ・多文化が共存する中で**対話し議論する力**を育成し、**考えを深めていく学び**を充実  
(例：ロジカルシンキング・クリティカルシンキング (LTCT)、言語表現、哲学対話等)
- ・データを効果的に活用・分析する**情報活用能力**を育成し、**情報や自然科学などの学び**を充実  
(例：データサイエンス、プログラミング、数理経済、自然科学課題等)
- ・実社会と結びつけて**国際関係を深く理解**する力を育成するため、**複合的要素をもつ学び**を充実  
(例：国際政策、地政学、文化人類学、多文化共生、環境政策、SDGs等)

### <総合的な語学力の強化と多文化理解教育の充実>

- ・外国人指導者等による少人数習熟度別授業等により、**英語を道具として使う力**を伸長
- ・**多文化への理解促進**等を目指し、**第二外国語**の授業を設置し、全ての生徒が履修
- ・教科の学習内容を**英語で学ぶ**内容言語統合型学習(CLIL)を導入

### <探究学習やSTEAM教育の充実>

- ・大学や高校、研究機関、企業、大使館、インターナショナルスクール等と連携し、グローバルな視野で社会問題に取り組む**創造的な探究学習**や、文理を融合した**課題解決型STEAM教育**を導入
- ・海外での実体験とオンラインを組み合わせた活動\*を開発し**協働研究**を行い、成果を世界に発信  
(\*現地研修をコアの活動とし、事前事後のオンライン研修と組み合わせた長期間の活動)

### <社会参加・社会貢献等体験活動や起業家教育の充実>

- ・国内外での**社会貢献活動やインターンシップ**等の体験活動に全ての生徒が参加
- ・世界で活躍するトップリーダーや起業家等から、困難を乗り越える力や創造力を学ぶ講座を設置

### <海外大学等への進学支援の充実>

外部専門機関等と連携し、**海外大学進学**に必要な講座の開設等支援体制を整備

### <海外帰国生徒・在京外国人生徒の受入れ及び支援の充実>

海外滞在の経験等のある多様な生徒を受け入れ、**国際色豊かな教育環境**を整備

### <連携交流等の機会の創出>

- ・ 海外留学生の受入れ等により、日常での交流を通して多様な考え方や文化に触れる機会を創出
- ・ インターナショナルスクールと連携し継続的な交流を実施。科目の相互履修等も検討
- ・ 地域の中学校と連携し相互の交流の機会を創出し、ローカルな視点も重視

### <特色ある取組の実施に当たって>

- ・ 海外高校への留学等多様な学びを推進。大学等での学びを修得単位として認定することも検討
- ・ 特色ある教育活動等を理解し、グローバル社会の中でチャレンジ精神や好奇心をもって新しいことに取り組む意欲のある生徒の獲得を目指し、入学選抜の手法等を検討
- ・ 生徒が多様な関係者と議論や交流等ができる空間を整備

## (5) 教育活動の実現のために必要な教育環境の整備

### <教員の採用・配置・育成等>

- ・ 国際色豊かな高校等におけるグローバル人材育成の充実に向け、教員採用や配置等の仕組みを検討。高い語学力やグローバルな視点をもつ人材を幅広い層から確保するなど環境整備が必要
- ・ 英語による授業の実践やデジタル技術の活用など学校内外での研修や情報共有等が必要

### <外部人材の活用等>

- ・ 大学や企業等との連携を推進し、高度なレベルの課題研究を実地で学び、最先端に触れる機会を創出
- ・ 外部専門人材の活用により、海外大学等との連絡調整や企画運営を行うコーディネーター等を配置
- ・ 外部人材の活用・配置計画を立て、東京都教育支援機構（TEPRO）も活用

### <国際色豊かな学校等との連携>

- ・ 国際色豊かな教育を実践する都内国公立高校等と連携し、教員研修等を通じて教員の資質能力を向上

## (6) 世界に羽ばたくグローバル人材の育成に向けて

同校をグローバル人材の育成に向けた拠点として位置付け、都立国際高校の教育活動の充実を図りながら連携を進め、その成果を都立高校全体に波及